

自治体の課題、現状

- 本市では、指導経験がない教員に代わって専門的な指導ができる部活動指導員を平成10年度から導入し、教員の負担軽減と、部活動の質の向上・充実を図ってきた。しかし、既存の部活動全てを顧問に変わって維持することや子供たちの多様な活動ニーズを満たすような部活動指導員を全市的に確保していくことは困難である。【参考：外部指導員登録人数（令和7年度）：560人（活動人数：342人）】
- 子供たちの多様なニーズに応じた活動を選択できるようにするためには、学校にある部活動の中から選択する現在の仕組みではなく、校区や時間にとらわれず、参加する活動を選択できる仕組みが必要である。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	82校	全生徒数	32,633人
域内の部活動数	814部	実施した地域クラブ数	18クラブ
全体の指導者数	74人	全体の運営スタッフ数	81人
主な運営団体	任意団体、地域団体、民間企業、NPO法人		
主な種目	スポーツライミング、ラグビー、ドッジボール、サッカー、フェンシング		
平均的な活動回数	4～10回/月	参加生徒実数	延べ 約1,300人
参加会費	平均3,200円/月	主な活動場所	学校・スポーツ施設

取組の概要や成果

＜令和7年度の取り組み＞

- 5月末 クラブ登録等、相談窓口の設置（コベカツクラブ事務局）
保護者向け「安心・安全ホットライン」の設置
- 6月～ 団体の掘り起こし、吹奏楽情報交換会の開催
- 7月頃 実証事業18クラブの決定 対象クラブのオンライン研修開始
- 9月～ 18クラブが実証事業（先行実施）を開始
- 1月～ 約1,000クラブの「活動紹介」を専用HPで、順次公開
<https://kobe-katsu.smartkobe-portal.com/clubs/>
- 各クラブが実施する体験会は、専用HP「コベカツニュース」にて掲載。

運営体制図

